

ハンガリー政府観光局 ニュース 2010年6月30日 No.188

- ドナウ川増水による交通障害解消
- エステルゴム・プリマーシュ・ワインセラー開業
- 2010年7月から9月のイベント
- ブダペスト・レグナム・レジデンス開業
- ブダペスト・オリンピア・レストランがキッチン オブ ザ イヤーに
- 【コラム】サマースクールってどんなところ？ (2/3)

ドナウ川増水による交通障害解消

6月4日からドナウ川の増水に伴い、ドナウ観光船やトラムなどの運行に障害がありましたが、6月15日までに解消され平常運行されています。

エステルゴム・プリマーシュ・ワインセラー開業

この度、エステルゴム大聖堂の下に、プリマーシュ・ワインセラー(Prímás Pince)が部分開業しました。

エステルゴム大聖堂の地下には2千2百坪を超える空間が広がっており、従来レストランとして営業していましたが、再開発プロジェクトによりグルメレストランに加えカルパチア盆地に広がるワイン生産地の地下セラーを疑似体験できるワインセラーを開業しました。

このセラーでは支払いの後、入り口でICカードとワイングラスを受け取り、エノマティック・ワインシステムからセルフサービスで試飲することができます。

<http://primaspince.hu/>



エステルゴム大聖堂の地下空間(Prímás Pince のHP から転載)

2010年7月から9月のイベント

2010年7月から9月の主な音楽、スポーツ、美食などのイベントをご紹介します。

音楽イベント		
7/6-8/17	ブダフェスト夏の音楽祭	http://www.viparts.hu/
7/2-8/22	セゲド夏の野外劇場	http://www.szegediszabadteri.hu/
7/4	エゲル・シュトラウスのタベ	http://www.senatorhaz.hu/en/programs/
7/8-11	ザマルディ・バラトンサウンド	http://www.sziget.hu/balaton_sound_english
7/9-8/15	セントendre夏劇場	http://www.szentendreprogram.hu/
7/12-8/9	ブダペスト・ヴァイダフニャディ城夏の音楽祭	ヴァイダフニャディ城
7/29-8/20	ヴェスプレーム夏祭り	ヴェスプレーム城
7/29-8/1	デブレツェン・バルトーク・ベーラ国際合唱コンテスト	http://www.fonixinfo.hu/
8/7-8	ゲデレー宮殿・バロックの日	http://www.kiralykastely.hu/
8/11-16	ブダペスト・シゲット祭り	http://www.sziget.hu/festival_english
8/16-21	デブレツェン: フラワー・カーニバル	http://www.fonixinfo.hu/
8/28-9/6	フェルトウッド・エステルハージ宮殿・ハイドン祭り	http://www.haydn-eszterhaza.hu/
9/16-10/3	ブダペスト・バロック・フェスティバル	http://www.barokkfesztival.hu/
スポーツイベント		
7/29-8/1	ブダペスト F-1 グランプリレース	http://www.hungaroinfo.com/formel1/index_en.htm
8/19-20	ブダペスト・レッドブル・エアレース	http://www.redbullairrace.com
9/5	ブダペスト・国際ハーフマラソン	http://www.budapestmarathon.com/
9/26	ブダペスト・国際マラソン	http://www.budapestmarathon.com/
ワイングルメイベント		
7/9-11	エゲル・ピカペール・ワイン祭り	エゲル・ドボー広場
7/17-8/1	バダチヨニ・ワイン週間	バダチヨニ
9/8-12	ブダペスト・国際ワイン・スパークリングワイン祭り	http://www.aborfesztival.hu/
9/18-19	エゲル収穫祭	美女の谷
お楽しみイベント		
6/27-8/19	ブダペスト夏のくさり橋	くさり橋
8/6-8	デブレツェン・ワイン・カーニバル	http://www.fonixinfo.hu/
8/20-22	ブダペスト・民芸祭り	ブダ王宮
8/20-22	ホルトバージ・橋祭り	マーケット広場
8/27・9/24	ブダペスト・キャンドルライト・エクスプレス	http://www.mavnosztalgia.hu/

ブダペスト・レグナム・レジデンス開業

ブダ側のマルギット橋近くに4つ星ホテル、レグナム・レジデンス(Regnum Residence)が開業しました。

部屋数はスーペリオール 17 室(33m²)、スイート 33 室(40-48m²)の全 50 室で、全てが禁煙で、無料のインターネット接続環境が用意されています。

<http://www.regnumresidence.hu> (英語)

ブダペスト・オリンピック・レストランがキッチン オブ ザ イヤーに

Hungary Creative Kitchen Forum は、2009 年のキッチン オブ・ザ イヤーにブダペストのオリンピック・レストラン(Olimpia Vendéglő)を選定しました。

2008 年に開業したこのレストランは最高の素材を常に求め提供するため、決まったメニューを用意せず、入荷した素材に基づいた日替わりメニューを黒板書きし、ランチに 3 コース・メニュー、ディナーに 3-6 コース・メニュー用意しています。Budapest, VII. Alpar utca 5. (ブダペスト東駅の北東約 600m) <http://www.alparutca.hu/> (ハンガリー語)

【コラム】サマースクールってどんなところ? (2/3)

今回のコラムも前回に引き続き、ハンガリーでのサマースクールの体験談である。一日目から始めて、授業の様子を辿っていくことにしようと思う。

サマースクールの開校前日——。ブダペシュトからデブレツェンへ行き、駅から路面電車で揺られて会場の大学に向かう。このトラムは公園で森の中をぐるりと一周するため、緑を眺めながらぼーっとしているといつの間にか逆戻りしてしまう。全神経を集中させて大学近くの駅で下車し、荷物を引きずりながら、やっとのことで会場に着いた。

説明を受けた後に、早速クラス分けのテストを受ける。文法は勉強していたものの、基本単語を全く覚えていなかった私にとっては散々なテストだった。とぼとぼと寮に戻り、落ち込む間もなく今度はフランス人とポーランド人のルームメイトに挨拶をする。すごく気立てのいい子たちだったので、すぐに打ち解けることができた。ルームメイトが同年代で、さらに 2 人とも英語が流暢だったのは本当に幸運だったと思う。

寮はクリーム色とエメラルドグリーンを基調とする、とてもさわやかな造りである。しかし 1 部屋にベッドと棚が 3 つずつ並んでいるだけなので、どうもプライバシーという概念は存在しないようで……。私は意外に集団生活が平気だったので大丈夫だったが、人によっては我慢できないかもしれない。部屋を選ぶときはご注意を。

結局私は中級 3 のクラスに配属され、翌日から授業がスタートした。以下はサマースクールの、とある一日のスケジュールである。ちなみに食事はうろ覚えなので、印象に残ったものを勝手に選んで書いた。

- 8:00- 朝食(パンや野菜、卵、ソーセージなどのビュッフェ)
- 9:00-10:30 ハンガリー語授業(文法中心)
- 11:00-12:30 ハンガリー語授業(文法中心)
- 12:30-14:00 昼食と昼休み(野菜のクリーム煮(főzelék)ソーセージ入り、スイカ)
- 14:00-15:30 ハンガリー語授業(会話中心)
- 16:00-17:30 音楽史の講義(英語、テーマは「ハンガリーのジャズ」)
- 18:00- 夕食(果物のスープ、肉のフライ、付け合わせの米、パン)
- 22:00- 映画鑑賞『メリーゴーラウンド』

ご覧の通り、午後まではハンガリー語漬けである。私のクラスは8人編成で、先生は2人。クラスメイトの国籍も年代も様々で刺激的だった。

さて、実際の授業はクエスチョンマークの嵐であった。Hungarolingua というハンガリーでの日常生活に即したテキストとビデオには、分からない単語がずらりと並ぶ。補助としてたまに英語で文法が解説されても、さてその文法用語が分からない。ワークブックにある練習問題の宿題も出る。しかも私以外の生徒は前からこの教材を使用しており、スキットの登場人物に馴染みがあるらしい。第10課のエステルとジャンの喧嘩に皆が大笑いしていても、私は「誰それ!？」と、会話についていけないのだ……登場人物関係まで予習しなければならないとは!

そんな状況で最初の1週間はやや気負いすぎてしまい少し大変だったが、後から他の人も難しく感じているということがわかり安心することになる。辞書を引いていると話についていけなくなるため、分からない単語は躊躇せずにその場で質問するなど、授業の受け方も工夫した。やがて日が経つにつれ良い意味で力が抜けていくのがわかった。会話の授業はスキットを作ったりゲームをしたりと様々だが、自分の国について説明する機会もある。拙い説明でも他の人が関心を持ってきて嬉しかったし、故郷の習慣について様々に考えるきっかけにもなった。

今回は主に授業の話をしたので、次回はそのほかのプログラムについて書くつもりだ。(岡本佳子／ハンガリー文化センター)